

深地層の研究施設計画に係る第 2 期中期計画期間中の成果と
今後の計画に関する国際レビューワークショップ

1. 主旨

「日本原子力研究開発機構の改革計画 自己改革 ―「新生」へのみち―」（平成 25 年 9 月 26 日）において、「取りまとめ作業と並行して、深地層の研究施設で行うべき残された必須の課題を明確にした深地層の研究施設計画を、担当理事を主査とするチームにより、平成 26 年 9 月末までに策定する。」こととしている。

策定にあたっては、国際的動向を踏まえた第三者による適切なレビューが必要である。

そこで、国内外の専門家による、成果と課題、調査計画の適切性等に関する評価のための国際レビューワークショップを開催する。

2. 開催方法

バックエンド研究開発部門 地層処分研究開発推進部が主催。使用した資料や議事録は、これまでの委員会資料と同様、機構ホームページで公開することとする。

3. メンバー

国内専門家：地層処分研究開発・評価委員会の委員及び深地層の研究施設計画検討委員会の委員、原子力発電環境整備機構など

国外専門家：国際機関（IAEA など）および国際共同研究等を実施している機関（スイス・Nagra、アメリカ・LBNL など）所属の関係者など

計 60 名程度

4. 開催時期

平成 26 年 6 月 18 日（水）～6 月 20 日（金）、3 日間

5. 開催場所

6 月 18（水）～19 日（木）：アットビジネスセンター東京駅 302 会議室
（東京都中央区京橋 1-11-2 八重洲 MID ビル）

6 月 20 日（金）：瑞浪超深地層研究所（希望者のみの施設見学）

6. レビューワークショップのプログラム

（1 日目）

第 1 部：第 2 期中期計画とりまとめにおける深地層の研究施設（以下、「URL」）計画関連の
成果の紹介

○イントロダクション（ワークショップの主旨とスケジュール等）

○第 2 期中期計画とりまとめの骨格と成果・課題の概要の紹介（URL 計画の経緯、技術的・社会的条件等の紹介を含む）

○瑞浪と幌延の研究成果とその反映先、課題を紹介

第 2 部：URL 計画における必須の課題と課題解決のための調査計画案の紹介

○事業者と規制機関のニーズ

○瑞浪と幌延の必須の課題の紹介

(2日目)

第3部：URL計画の今後の課題に関する議論

第4部：専門家によるレビューとまとめ

- ・終了後、瑞浪超深地層研究所視察希望者は瑞浪へ移動

(3日目)

- ・午前：瑞浪超深地層研究所視察（午前）※希望者のみ
- ・午後：（昼食後）現地解散

以 上